



# 創立の理念に立ち返って

社会福祉法人栄光園  
理事長 江口 敏一

社会福祉法の一部改正に伴い、本年4月より社会福祉法人制度が大きく改正されました。

そのため、理事会が執行機関、評議員会が法人の理事選任や業務実施の議決機関となり、それに伴い役員等も刷新されました。この6月開催された第1回評議員会にて新理事が選任され、互選の結果、友永丈一前理事長の後任として、浅学菲才な私が理事長に就任することとなりました。

栄光園の創立の経緯は、敗戦国統治と朝鮮戦争のために駐留してきたアメリカ兵と日本人女性との間の混血児が巷にあふれ、このことを憂慮した別府不老町教会の野町良夫牧師、小郷虎一・小福夫妻が立ち上がりました。また、心痛めた宣教師キャザリン・ステイブンス氏が、月給数千円の当方で50万円寄付さ

れたことにより、1950(昭和25)年財団法人基督教栄光園が創立され、4年後に、社会福祉法人栄光園となりました。小郷夫妻の献身的な尽力で5千坪の用地が確保され、児童養護施設・乳児院の建設に着手。1952(昭和27)年4月に最初の乳幼児を受入れ、事業が開設されました。その後、困難な状況に遭遇して、全力を注いできた小郷虎一が逝去され、妻の小福が第2代園長として30年余の長期に亘り栄光園を支えました。その後小郷穆子、小郷晶子が支えて来られました。

私は、2010(平成22)年4月より小郷晶子園長の後任として児童養護施設の施設長を拝命いたしました。その時より、小郷家によって支えられてきた栄光園を血筋によらないで、「子どもたちのための子どもの施設づくり」をどのよう

私の後任に引き継ぐべきかが私の大きな命題となりました。

キリストの理念により小郷夫妻が開設された栄光園は、神様を愛し、自分を愛するように隣り人を愛することにより、神様の栄光を表すことから「栄光園」と命名されたことを知るので。それゆえ、「神は愛なり」を謙虚に堅持する経営が求められているのです。

子どもたちはもちろん、私たち全てのひとり一人は神様に愛される存在として造られた被造物であるということ。このことが、児童福祉法、児童憲章、児童の権利宣言、児童虐待防止法等によって子どもたちを大切にしなければならぬ根拠ですから、愛するとはどのようにすることが問われます。

私は、「愛するとは、自分のものはあなたのもの」として、助けを必要としている方のために自分をを用いることだと考えております。この「もの」とは「時間・才能・財力」と考えますし、この継続は、生涯を意味し、人生でもあり、一生でもあり、命なのです。なぜこのことが可能かといえ、生まれたときは裸で、何も持っていない状態ですから、今持っている時間・才能・財力は与えられたためぐみであり、古い(時間の経過)と共に失うものであることを自覚させられるからです。「人生、誰と出会ったかで自分の人生が決まる訳ですし、「会うは別れの始まり」と言われますように、会った人とは必ず別れるのです。私たちに問われているのは、時間・才能・財力・出会

いを失っても惜しくない生き方、すなわち、持っているとき、出会っているとき、失うのを前提に密度の高い用い方や出会いをすることではないでしょうか。

私たちは、子どもたちとの出会いを通して、関わって下さる支援者、地域の方々、教育機関、医療機関、行政機関の方々、そして家族の方々との出会いの中で、このことを実践したいと切に願っております。

今後ともよろしくご指導賜りたく存じます。

## 今回の制度改正に際して

法人制度改正では、栄光園を支えて下さっている理事・評議員・監事の皆様には何らかの形で残留をお願いしました。3月の理事会において、評議員選任解任委員会の委員を決め、その委員によって、友永前理事長をはじめ7名の評議員が選任されました。また、その評議員会にて直接法人経営を担う理事・監事の選任や業務実施の議決をしていただきました。(10ページ参照)

これまで長期間栄光園を支えて下さって、種々の事情で退任されたました豊永家壽子理事、平野八郎評議員の皆様へは言い尽くせない感謝の思いでおります。ありがとうございます。

# 児童養護施設

## キャサリンホーム

ホーム長 宮崎 洋子

現在、ホームは、中学生1名、小学生5名の男児6名が在籍しており、子ども一人ひとりの特性や個性を活かした支援に取り組んでいます。

例えば、クラブ活動に所属して、礼儀や社会性を身に付けてもらうなど、個別的対応としては、整理整頓の不得手な子どもには、不要物を片付け極力物を減らし、片付けが行いやすい場所を提供しています。言語理解の苦手な子どもには、生活の流れを文字や絵を用いた視覚的教材を作成し、一日の振り返りの時間に「何が出来て、何ができなかったか」を確認する取り組みを行っています。

また、月に1回、性についての勉強会を行う中で「命の大切さ」を学びながら、子どもたち自ら昆虫や植物を責任持って育てることにより、日常生活の中で体感することができるよう支援しています。

日々子どもたちの様子を見ながら職員同士しっかりと連携しつつ、他機関との連携を大切に、多くの大人から見守られ、安心・安全な生活を送ることのできるよう今後も支援していきたいと考えています。

## ウエストホーム

ホーム長 大野 将也

ウエストホームでは現在7名の中高生男児が生活しています。最近では中高生での途中入所が増えており、ウエストホームで生活をしている子どもが殆どが中学生以降での途中入所となっています。その中でもまずは、子ども同士、子どもと職員の関係づくりを大切に、お互いに何でも言い合える関係性の構築を目指しています。思春期の歳頃の子どもが生活を共にする中で、子ども同士、時には職員とも意見がぶつかり合うこともあります。そのため、意見の折り合わせや、困り事の解決をおこなえるように、月に一度子ども、職員が全員参加のもと、日々の困りや、それぞれの意見を出し話し合う機会(定例会)を設けています。定例会は昨年度からおこなっており、回を重ねるとに子ども同士で意見を出し合いながらホームの約束を決めることもあり、他者との折り合いを付けられるようになることや、主体的に生活を送ろうとする姿が芽生えてきているように感じます。

の方による毎週土曜日の学習支援や、高校3年生を対象にした、一人暮らし体験を職業指導員と一緒に計画、実施する等、ホーム職員だけでなく他機関、他職種とも連携を図りながら進学支援、自立支援にあたっています。

また自立を間近に控えた中高生であっても、入所前の生活においての経験不足などもあり、生活習慣の立て直しの必要性を感じる場合があります。食事の際に全員揃って団らんの食事を囲むことや、毎日決まった時間に就寝、起床すること、週末には居室の掃除をおこなうこと等、日常における生活体験の積み重ねにより基本的な生活習慣を確立し、その経験をもとに自立した生活を送ることが出来るよう、日々の生活を営んでいます。

## ムラカミホーム

ホーム長 土谷 聡一

今年度、ムラカミホームは、ホーム長の交代と新任職員が加わった新体制でスタートしました。児童は当初の高校生1名、小学生2名、幼児2名の5名でしたが、途中で小学生が1名増え現在女児6名で生活しています。ホームでの大きな目標として少しでも家庭に近づいた生活を目指した養育に励んでいます。そのためにも、児童との関係性はもちろん職員間の情報共有や連携を大切に、良い雰囲気での養育に臨めるよう努めています。

## マツモトホーム

ホーム長 竹原 史雅

日々の生活において、幼児が多いホームであるため基本的な生活習慣の確立を重点目標として、現在は挨拶やトイレトレーニングなどに力を入れていきます。さらに様々な理由により表面化する課題に対して、子どもの気持ちに共感し、寄り添った支援を心掛けています。年度途中での児童受け入れは対応が難しくホーム全体が浮き足立ってしまいました。しかしホーム内で試行錯誤を重ねながら少しずつ落ち着きを取り戻してきたように感じられます。

また今年高校3年の児童に関しては、自立に向けた支援を進めています。進路決定に向け本人を中心に各関係機関とも連携を図りながら取り組んでいます。夏休みには親子生活訓練棟を利用しての一人暮らし体験も計画中です。本人の不安や悩みに寄り添いながら、自身で決定していけるよう支えていけたらと考えています。

今後も児童の成長に伴い様々な課題に直面することが予想されます。その様な時、決して職員一人で抱え込まずチームワークを大切にしながら問題解決に取り組んでいきたいです。

今年度は中学2年2名、中学1年1名、小学3年1名の計4名の女児でスタートしました。思春期真っ只中の中学生、その姿を真似しながら背伸びす



る小学生、1人1人色々な個性を持つた子どもたちです。あの手この手を使いながらホーム職員一同、日々思考錯誤しつつ、生活を共にしています。

6月より2歳女児1名が仲間入り、元々賑やかなホームでしたが、一層賑やかになりました。ホーム児童と年齢差があるため仲間入りした当初は、子どもたちも戸惑う様子が伺えましたが、今では優しい接し方が身につきました。

2歳児から中学2年生までの年齢差が大きい集団ですので、子どもたちからの質問や疑問・要望なども様々です。その都度その子のことを思いながら丁寧に対応・支援することを心がけています。

子どもたち・職員共々、今後色々な壁にぶつかった時、1人で抱え込まず相談し合える関係構築や雰囲気作りに取り組んでいきます。



ホーム長 大野 薫

オゴウホームは今年度よりホーム長が交替し、子どもと職員の関係作りからのスタートでした。

ホームの方針としてまずはホーム職員が子どものことを知り、日頃の様子や出来事などを情報共有し検討する。そこから一人ひとりに合った関わり方や支援を行っています。

幼児2名、小学生2名、中学生2名

の子どもたち6名のうち今年の春、高校生となったHさん。中学校ではクラスに馴染めず不登校気味でしたが、支援学校へと進学し、自立に向けて、まずは毎日学校に通うことを目標に入学式を迎えました。これまで1日を学校で過ごすことがほとんどなかったため、体力も集中力も続かないことを考え、家庭学習を減らすなどなるべく負担のないよう配慮しました。少し前は些細なことでも登校拒否する姿がみられていたHさんですが、学校に行きたくなると訴える日や、早退する日はあるものの、今のところ休まず毎日登校できています。また、対人関係に悩むことがあっても、少しずつ自分で解決したり、気持ちを切り替える姿も増えてきたように感じています。

小学3年生の女児2名は、朝が苦手で身支度が朝食に間に合わないことも度々ありました。生活リズムがしっかりと整うようにどうすれば良いか、アイディアを出し合う。うまくいかなければ別の方法をとやってみるうちに、しっかり起きれるようになりました。学校から帰って来て「ただいま」が自然に出ない2人に職員側から「お帰り」と声を掛け続けることで、自然に「ただいま」と言えるようになりました。

も成長していくのだと考えています。今、6月に入所した2歳の男の子の存在が他児の意外な一面を引出し、また、ホーム全体の笑顔に繋がりが雰囲気も明るくなりました。

職員の間には子どもに影響を与えます。職員間の連携、他機関との連携を大切にしながら、まずはチームワークを良くし、子どもへのより良い支援へと繋げていきたいと考えています。



ホーム長 藤本 一明

盛夏の候、毎日うだるような暑さが続きますがいかがお過ごしでしょうか？当園の児童らも、連日の暑さに負けず、学習や部活など様々なことに意欲を持って取り組んでおります。

開設して1年間の地域小規模施設「ノマチホーム」の児童らの様子やホームの取り組み、近隣住民の方々との関わりを紹介いたします。

家屋での生活に、戸惑いと不便さを感じることも度々ありました。そこで児童の意見を中心に、ホーム職員も含め全員で検討を重ね、少しずつ環境を整えていきました。思い返すと課題の1つずつをイベントのように楽しみながら取り組んでいたように思います。今年度に入り、再度リフォームを行い、すべての児童が個室となりました。プライベートも守られ、各々が過ごしやすいく空間作りもできており、さらなる喜びを感じています。

また、当ホームの庭には小さいですが畑があり、現在までに、キュウリやオクラ、ゴーヤなどを栽培してきました。生育の過程を通して野菜作りの大変さや収穫の喜び実感しております。児童には嫌われがちなゴーヤですが、工夫をして調理をし、旬の食材ならではの味わいを楽しみました。感想は様々でしたが、とても有意義な時間となりました。

地域住民の皆様にも、まずは挨拶をすることから始め、温かく見守っていただいております。そういった関わりの中で、徐々に自分たちの方から明るく挨拶をする姿が増えてきています。今年度は地域行事にも積極的に参加していきたくと考えております。

今後の目標は、ここを巣立っていく児童が、将来、家庭を持った時の良きモデルとなるよう、ホームの強みを活かしながら職員間で連携して支援に携わっていきたくと考えています。







今年も子どもたちが、夏野菜を植えました。キュウリやトマト、ピーマンにナスを植えました。昨年、トウモロコシがカラスに食べられてしまうというハプニングがあったので、今年は、植える場所を変え、ネットで覆ってもらいました。

子どもの日の当日は、兜飾りの前で記念撮影をし、こいのぼりのデザート付きのごちそうを食べ、子どもたちは子どもの日を満喫していました。



おきくなくれ  
おいしくなくれ



聖書の言葉

聖書 詩編28編7節

「わたしの心は主に依り頼みます」

別府不老町教会 牧師 齋藤 真行

「自立」とはなんでしょう。一般的には、「自分の力で立つことができる」ということ、「自分のことはすべて自分ですることができ、ことと考えられています。たとえ、精神的自立は、自分で知識を調べ、理解し、考えることができる」ことであり、経済的自立は「自分で仕事をし、お金をもらい、適切に管理できる」こと、生活上の自立は「自分で炊事、洗濯、掃除など、生活の必要を満たすことができる」ことです。自分自身の主体的な理解や判断、行動によって生きていくことができる人を「自立した人」と言います。

しかし、更に厳密に考えてみると、事柄はそう単純でもありません。「自分で考えることができる」といつても、「調べ方や考え方」を

教えられないとできませんし、仕事のやり方や家事等も、だれかに指導してもらわないと学べません。自分一人だけで生きていけるように、自己完結している人はどこにもいません。自立しているという人も、誰かに支えられているし、なにかに頼って生きています。

「自立」とは「自分だけで生きていける」ことではなく、むしろ生きるために必要な資源（知識、手段、力、支え）がどこにあるのかを知っていて、これを適切に活用することができる、ということではないでしょうか。「適度で適切な依存の仕方」を身に着ける、ということ。幼いほど、子どもは全面的に大人に依存していますが、この依存の仕方は成長と学習に伴って形を変えていき、どこにどの程度依存できるのかを理解するようになります。その度合いを環境や人間関係の間で適切に調整できるようになると、円滑

な生活が可能となり、自立することができるようになります。大人になることは、「甘え」や「依存」を手放していく過程ですが、どんな大人の心にも、やはり最後までこの思いは残っているものです。「大きな愛を示す存在のなかで心ゆくまで安らぎたい」という思いは、消えるものではありません。

聖書は、「徹底的に依存することができ、存在」としての神を私たちに伝えてくれます。どんなに甘えや依存が許されない厳しい状況にあろうと、自らをゆだね、依り頼むことができる神の存在を知ることが、人生の安らぎの基盤となってくれるものです。子どもが大人の腕のなかで涙をぬぐわれ、立ち上がっていくように、私たちもまた神の御腕のなかで悲しみが癒され、力を頂くことができるのです。

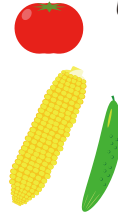




**七夕**

今年も笹に色鮮やかな飾りと、子どもたちのお願いごとをたくさんつけました。一つひとつ見てみると、「この子らしいな」という願いや、思わず笑みがこぼれてしまうような、かわいらしいお願いもありました。

7月7日の七夕の日は、子どもたちのかわいらしいお願いが届くように、晴れてほしいですね。



また、今年はサツマイモの苗をいただいたので、子どもと保育者が「大きくなれ。おいしくなれ。」と言いながら一生懸命に植えました。

今現在の野菜の様子は、キュウリとトマトは収穫できて、夕飯で食べましたが、まだ実っています。サツマイモは順調に葉っぱが育っています。トウモロコシは、だいぶ大きくなり、そろそろ収穫かな？今年こそは、美味しく食べられますように。

うさぎ組のお友だちは、栄光園グラウンドでたくさん遊びました。木陰では涼しい風が吹き、とても心地よかったです。そんな中で子どもたちものびのびと広いグラウンド内を散歩したり、ボールやフープを追いかけたり、ダンゴムシやアリを見つけたり、シロツメクサやタンポポなどの草花にも触れたりして遊びました。心地よい春から夏の始まりの自然の中で、しつかり遊び、たくさん食べ、ぐっすり眠り、元気にすくすくと大きくなって下さいね。

### 青山保育所

### 栄光園グラウンドで たくさん遊んだよ



## 心の平和

青山保育所 原田 康子

### 人生全体において 幼い子どもの時期ほど 心の平和を 必要とする時はない

『児童の世紀』エレン・ケイ

これは、先日絵本の研修会に参加した際、講師の方から教えていただいた素敵な言葉です。

乳幼児期は、子どもの一生を左右するほど大事な時期です。この大切な時期に子どもたちにしっかりと関わっていきましょう。目と目を合わせてわらべ歌遊びをしたり、子どもを膝に抱いて絵本を読んであげるなど親子の時間を楽しんでみませんか。そんな穏やかな時間が、子どもたちの心の栄養になっていくのです。日々の何気ない温かい関わりが子どもとの絆を育てていくのではないのでしょうか。

一日の中で時間を決めて絵本を読んであげてはいかがでしょう。決まった時間に読んであげることで、子どもたちの中に時間の流れができてきます。例えば、寝かしつけるときに読むようにすると絵本を読んでもらった後は寝る時間というように子どもの中に時間割ができるので寝かしつけることが楽になるかもしれませんよ。また、子守歌を歌ってあげるのもいいでしょう。親子で大切な時間を紡いでいってください。



### ワンポイント アドバイス

大きな声を出さず、言葉を手渡すことを心がけ、人の声の心地よさを体験できるようにすることが乳幼児期の子どもとの関わりの中で気を付けていきたいことです。



### 子どもの日お楽しみ会

子どもの日の前に、子どもの日お楽しみ会をしました。子どもたちは子どもの日のお話を聞いたり、アンパンマンとバイキンマンの劇を見ました。みんなの大好きなアンパンマン、バイキンマンが登場すると、「アンパンマンー」と大きな声で呼んだり、「こわい」と泣きだしてしまう子もいました。

最後にはアンパンマンとバイキンマンと記念撮影をすることもできました。お楽しみ会ランチでは、チキンライスに旗がついた青山版お子様ランチに大喜びでした。子どもたちの大好きなものをばかりだったのでパクパクとよく食べていました。お昼寝していても「アンパンマン来たなあ」と余韻に浸っ



ていた子どもたち。これからもすくすくと健康に育ってほしいなと思います。



### ザリガニを釣ったよ!

南立石公園でザリガニ釣りをしました。初めて行ったときは「先生、どうやってすればいいん？」という声が飛び交っていましたが、コツをつかむと何匹も釣っていました。自然の生き物と向き合い、触れ合う楽しさを味わうことが出来たように感じます。これから夏や秋になると虫獲りなどもできます。生き物と触れ合う中で命の大切さに気付いていけるように関わっていきたいと思います。



### 多治見劇場

多治見先生は長年に渡り青山保育所で保育士をされ、昨年度3月末で退職された先生です。退職しても子どもたちへのお話のプレゼントをしに来てく

### 毎日歯磨きしているよ

ださっています。子どもたちもこの多治見先生によるお話を楽しみにしています。青山保育所では恒例になりつつある多治見劇場です。多治見劇場や日頃のクラスの中の絵本や紙芝居などの読み聞かせを通して、お話が好きな子どもに育ってほしいなと思っています。

歯の衛生週間の6月6日に大分県歯科技術専門学校の学生さんが来園し、歯磨き指導をしてくれました。紙芝居や、クイズで、歯磨きの大切さを教えてもらい、最後に実際に歯ブラシを使って学生さんと歯磨きの練習をしました。その日の給食後に早速歯磨きを始め、





それ以来、毎日歯磨きをしていますよ！  
お家でも口の中をキレイに保つために、  
お家の人に仕上げ磨きをしてあげて下  
さいね。



### 水遊びをしたよ

夏を思わせるような暑い日には、水遊びを楽しみにしている子どもたちは、登園するなり保育士に「今日水遊びする？」と質問をしてきます。保育士が「水遊びをするよ！」と伝えると子どもたちは満面の



笑みを浮かべます。シャワーから出てくる水に自ら立ち向かっていくほど水遊びを楽しんでいました。今年も水の心地よさを感じながら、たくさん水遊びをしていきたいと思います。



### もうすぐ夏祭り!!!

7月15日には、恒例の青山保育所夏祭りがあります。今年の夏祭りのテーマは「海の夏祭り」です。そこで子どもたちは保育室を飾るために海の生き物を作っています。1歳児はカニ、2歳児は魚です。  
1歳児は赤・橙色のお花紙を丸めて袋に入れました。これまでは保育士の手伝いがなければできなかった子どもが、一人でできるようになり、袋に入

れるたびに「見て！」と差し出して保育士に見せたり「こう？」と言いながら丁寧に確認したりしながら頑張る姿を見ることができました。

2歳児は2種類の魚にチャレンジ！一つ目は、魚型の色紙にキラキラの紙を糊でペタペタ。二つ目は袋にカラーや柄入りの丸シールを貼り、その中にお花紙を詰めていきました。シールの好みや貼り方にいろんなデザインがあり、保育士がみんなの前で紹介すると照れたり自分が作ったことをアピールしたりするなどして喜んでいました。



## 野口保育所

### 子どもの日のお楽しみ会

各クラスで工夫した作品が出来あがってきています。当日保育室に飾っていく予定です。お楽しみに!!

毎年、こののぼりをベースに子どもたちが遊べるよう職員がいろいろな手作り玩具を作り、それを使って楽しく遊ぶ会を催していますが、もっと遊びたいと言う子どもたちのために今年度は2日間遊ぶことにしました。「明日も遊べるよ」と子どもたちは2日間充分に遊べたように思います。



また担当と5歳児で由来のペンダントシアターを披露したり、こののぼりクッキーを作っておやつとして全クラ

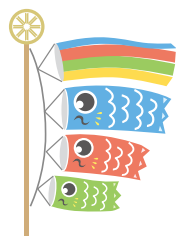




スに配りました。また4歳・5歳で協力して手作り鯉のぼりを作りお店屋さんも開きました。交換券を配り、どの子も大切に券を持って「こいのぼりください」とウキウキしながら買いに来てくれ、4・5歳児も店員になりきって「いらっしやいませ」「どうぞ」と嬉しそうでした。

お昼のランチは全クラスでテラスや園庭にて食べました。子どもたちはニコニコとって

も楽しそうで職員も頑張った甲斐があったなあと感じました。



### 親子遠足

新年度初めての保護者参加の行事でした。当日はお天気にも恵まれ、みんなで元気に触れ合い体操や親子ゲームをしました。また職員を知ってもらうために職員全員のクイズもしました。子どもたちや保護者の方々また職員の笑い声がたくさん響き、親睦もはかされた楽しい遠足でした。



### 保育参観

今年度の保育参観も2日間行いました。梅雨時期という事もあり室内での

活動が主でしたが、各クラスの内容を見て保護者の都合の良い日に参観してもらうことが出来ました。

大きいクラスになるとお家での姿とはまた違う一面を見る事ができたと保護者の方から「すごい」「えらい」など感想をいただきました。

子どもたちの保育園での様子が見れる機会をたくさんつくっていききたいと思っています。



### 芋の苗植え

6月1日に3歳・4歳・5歳児と一緒に食育の一環として、芋の苗植えに「農業文化公園」まで行ってきました。天候の心配もありましたが、お天気に

も恵まれ無事行うことが出来ました。おうちの方が作ってくれたおにぎり弁当を持ってバスに乗り子どもたちもハイテンションでした。

農業文化公園では担当の方のお話もきちんと聞くことができ、畑にもくくと向かい真剣にそして大切そうに苗を持って植えることが出来ていました。

10月には全クラス「親子遠足」として芋ほりに行く予定です。植えて終わりだけにするのではなく、成長を子どもたちと見守りながら、食べ物の大切さや収穫の楽しみなどを学んでいきたいなと思います。

### 不審者対応訓練

6月の避難訓練は、不審者対応訓練を行いました。最近児童施設に不審者が侵入するといった物騒なニュースが多くなってきました。野口保育所も他人事ではなく、いつどんな時でも対応できるようにしておかなければなりません。今回は園長が不審者となり、職員が不審者の対応している間に他の職員が子どもたちの避難を誘導をするといった訓練をしました。

実際行くと、いくら訓練とわかっていてもいざとなると慌ててしまい、後でこうすればよかったと言うような反省点がたくさん出てきました。そういった反省を生かしつつ、大切な子どもたちの命を守るためにしっかりとした対応をこれからも訓練を通して行っていききたいと思います。





2016年度

## 決算報告

## 資金収支計算書 (自)2016年4月1日(至)2017年3月31日

(単位:円)

## 事業活動による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
児童福祉事業収入	402,306,372	0	212,246,522	190,059,850	0	0
保育事業収入	195,659,500	0	0	0	107,248,770	88,410,730
経常経費寄附金収入	7,036,594	2,221,000	3,596,429	1,219,165	0	0
受取利息配当金収入	132,460	82,018	14,610	31,713	2,253	1,866
その他の収入	7,962,512	1,821,000	2,446,488	449,030	1,483,534	1,762,460
事業活動収入計①	613,097,438	4,124,018	218,304,049	191,759,758	108,734,557	90,175,056

## 事業活動による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
人件費支出	419,222,657	0	149,708,898	124,304,341	79,524,120	65,685,298
事業費支出	65,166,935	0	28,737,040	14,413,897	10,873,052	11,142,946
事務費支出	37,262,995	3,100,751	13,028,823	10,805,513	6,553,449	3,774,459
その他の支出	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計②	521,652,587	3,100,751	191,474,761	149,523,751	96,950,621	80,602,703

## 事業活動資金収支差額

事業活動資金収支差額③=①-②	91,444,851	1,023,267	26,829,288	42,236,007	11,783,936	9,572,353
-----------------	------------	-----------	------------	------------	------------	-----------

## 施設整備等による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0
施設整備等収入合計④	0	0	0	0	0	0

## 施設整備等による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
設備資金借入金元金償還支出	2,000,000	0	2,000,000	0	0	0
固定資産取得支出	12,727,462	0	5,983,212	6,104,742	464,508	175,000
施設整備等支出合計⑤	14,727,462	0	7,983,212	6,104,742	464,508	175,000

## 施設整備等資金収支差額

施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-14,727,462	0	-7,983,212	-6,104,742	-464,508	-175,000
------------------	-------------	---	------------	------------	----------	----------

## その他の活動による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0
その他の活動による収入	15,950,000	0	14,916,228	15,950,000	0	0
その他の活動収入計⑦	30,866,228	0	14,916,228	15,950,000	0	0

## その他の活動による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
積立資産支出	88,078,676	0	24,640,080	48,888,480	7,573,556	6,976,560
その他の活動による支出	3,240,000	0	1,598,400	1,641,600	0	0
その他の活動支出計⑧	91,318,676	0	26,238,480	50,530,080	7,573,556	6,976,560

## その他の活動資金収支差額

その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	-60,452,448	0	-11,322,252	-34,580,080	-7,573,556	-6,976,560
-------------------	-------------	---	-------------	-------------	------------	------------

## 当期資金収支差額合計

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	16,264,941	1,023,267	7,523,824	1,551,185	3,745,872	2,420,793

## 前期末支払資金残高

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
前期末支払資金残高⑪	139,705,402	21,091,186	29,845,836	50,188,136	21,064,163	17,516,081

## 当期末支払資金残高

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
当期末支払資金残高⑩+⑪	155,970,343	22,114,453	37,369,660	51,739,321	24,810,035	19,936,874

# 栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

児童養護施設の子どもの進学等を重点的に支援する目的で始めた『自立進学資金(栄光園ファミリークラブ)』の枠は上級学校への進学により社会で活躍できる領域を格段に広げる重要なアフターケアだと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

新年度も皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお祈りいたしております。

【2017年4月1日～2017年6月30日まで】

## 賛助金

阿部 董様	日出町
糸永 隆一様	大分市
大内 矯正歯科様	大分市
岡口 文明様	愛知県
辛島 優子様	別府市
川村 隼秋様	熊本市
B混記念合唱団	別府市
立花 旦子様	大分市
福田美代子様	大分市
堀 直様	兵庫県
増田 百枝様	日田市
松本 重孝様	別府市
三浦喜美子様	大分市

## 一般寄付

村津 忠久様	別府市
山口産業(株)様	別府市
(有)コーク精起様	東京都
渡邊 暁子様	別府市

阿部 薫様	日出町
興水建築設計事務所様	日出町
匿名 名様	別府市
匿名 名様	別府市
長野 哲也様	別府市
東九州短期大学様	中津市
別府不老町教会様	別府市

## 自立進学資金

安東 英典様	大分市
匿名 名様	別府市
堤 峰子様	国東市

## 特別物品寄付

たけのこ多数	愛の里	古川泰征様
野菜の苗		安藤秀典様
夏みかん		上杉敬三様
新玉ねぎ		大津留亀寿様
さくら祭り食券		借楽園様
お菓子多数	(株)ユーコー	中村雄二様
ポン菓子多数		辛島陽子様
乳児用服・タオル等		川野美香子様
衣類	ケシャブ・カンデル様	
パン等多数	ココラート様	
チャイルドシート・玩具	コンビ株式会社	筑波様
乳児用服等	コンビネクス	株式会社様
お菓子	千湯樓	柴田佳代子様
お菓子多数	ダイヤモンド	やまなみ店様

## 招待・奉仕

衣類・タオル・カバン	竹田弘美様	
芋の苗	藤堂広志様	
乳児用服	匿名 名様	
洗剤・文具等	中村里子様	
衣類	中村美樹様	
ニラ・たけのこ多数	二宮洋典様	
書籍等	福本陽子様	
果物・野菜等		
フルゴスペルキリスト教会	永野誠治様	
花束	別府市不老町教会様	
乳児用服	矢内真愛様	
進級祝いのケーキ	山口香様	
シュエブラック・蓋付ゴミ箱	山本宜雄様	
塗装ボランティア	有永塗装	有永裕起様
小中学習ボランティア	安藤秀典・井上せつ子・木本直美様	
照明修理	市原幹夫様	
プロレス招待チケット	江藤行大様	
ピアノレッスン	奥山靖子様	
たけのこ掘り招待	九州労働金庫別府支店様	
児童の散髪	Kヘアー様	
スピードラーニング	APUキャサリン様	
スポーツボランティア	ティム・ディック様	
ナンカレー50食	ケシャブ・カンデル様	
塗装ボランティア	塗魂ペインターズ様	
金曜学校		
遊びと学習	齋藤真行・庄司宣充・吉武二郎様	
草刈り	橋本浩子・重正様	
遊びボランティア	自治会長 前畑隆幸様	
英会話クラブ	SBI子ども希望財団様	

## 賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割も可。  
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。  
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌『栄光園だより』を送付させていただきます。



## 苦情等相談窓口

\*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。  
tel.0977-23-2827  
fax.0977-23-7520  
mail eikoen@live.jp

## 編集後記

この7月は、北部九州集中豪雨で始まりました。身近なところで、山容が大きく変化し、思いもかけないところに新しい河川が生まれ、住宅の周り、そして、海が野木場になるという大自らの猛威を目の当たりにしました。森羅万象に対する畏敬の念を常に心すべきことを教えられた気がします。天に召され、また、被災された方々への慰めと新たな希望が与えられますようにとお祈り申し上げます。  
今回、評議員会で承認された前年度の決算報告と併せ、社会福祉法人制度改正による新体制のメンバーをご紹介させていただきます。子どもたちのため所存ですので、今後とも、よろしくご指導賜りたく存じます。  
(敏)